

2007年1月3日発行

# エコ・リサ通信

第57号

NPO法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会会報  
発行人 高木 康夫

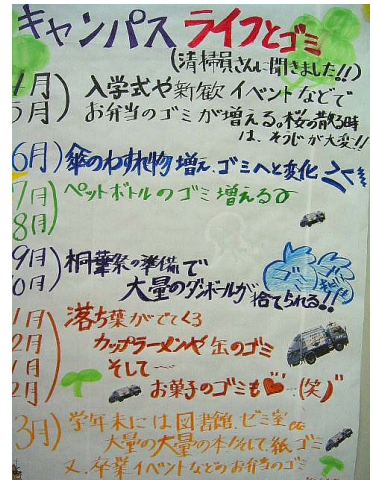
## 取材報告

### 十文字学園女子大学を訪ねて…

(報告者 宮田尚美)

2006年10月21日(土)新座市にある十文字学園女子大学の学園祭に行きました。

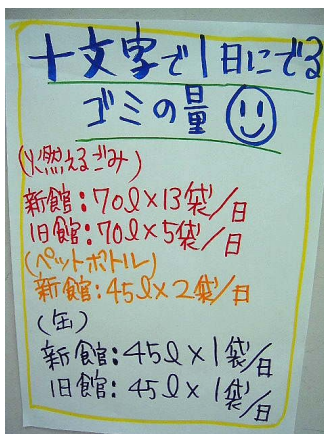
社会情報学部の1・2年生は、毎年「買い物ガイド作成マニュアル(エコ・リサ版)」を教材に学習し、今年度前期には実際にお店調査を行い展示・発表しました。



- \* 十文字で一日に出るごみの量を70%の袋で何袋かを、一目で判るように展示されていました。
- \* 新座のごみの行方として、収集 分別 新座環境センター(処理) 埋め立てまでの経緯をイラスト入りでまとめてありました。
- \* 環境クイズや水質調査など季節ごとに変わっていくごみの調査もあり、カラフルな展示でいっぱい!!



展示ブースでは



実際に取り組んだ感想を田総恵子先生と3名の生徒さんにお話を伺いました。

今回挑戦したのは30名程の社会情報部コミュニケーション学科の生徒が参加、マニュアルの中から各コースを各自が選択し、夏休みに自宅付近のお店を調べました。

最初は何処のお店も品物がなかなか見つからず、環境に良い物は棚の隅か上の方にあり、調べて行くうちに多数ある同じ種類の品物の中に、探している物がとても少ない事に気付いたそうです。今までは名前と値段で選んでいたけれど、表示を見て成分を確認

し、(裏)を見ることも肝心と気付きました。

〔参加された女子大生の感想は?〕

**私たちの意識は便利を優先してきた。よってエコ商品に気づかなかったが、よく見ると、ある所にはエコ商品があるのだ。(1年生)**

賞味期限の切れた食品を廃棄する現場を目撃した。これまでは、賞味期限の長いものをいつも選んでいたが、いつまでにこの食品を食べると決めて買い物をすると、廃棄の量も変わってくるのではないかと思った。余分なものを買わないようにしたい。

「ある店で、環境に配慮された商品が特定の部門で多いと、別の部門でも環境に配慮された製品が売られている傾向があることがわかった。環境を考えた製品を売る比率は、その店の意識に比例するのだろうか。」

今回環境を意識した視点でスーパーを見て、気づいたことがある。まず1つめに、どこの店舗も鳥肌が立ってしまいそうなほど寒い。肉や魚、野菜などの生鮮食品、冷凍食品、飲料品などが豊富に置かれているから仕方ないのだろうか? しかし、品物の置かれているところの温度は下げなくてはいけないにしても、冷凍食品の置かれているケースは蓋をつけるとか工夫をして、店内気温はもう少し上げることができるのではないかと思った。(2年生)

調査後も購入しないけれど品物を見たり、商品の置き場所なども気になるようになった。普段買い物に行っているお店に調査した物があつた時は、とても嬉しかったと話してくれました。

今回調べた品物は実際に買う機会が少ない物ですが、次回挑戦する時は学生さんの身近な品物を調べて欲しいと思いました。(田総恵子先生)

## エコ・リサイクル交流集会 2007 みんな集まろう

**2007年2月3日(土)さいたま市民会館うらわ  
10時~16時30分**

**『築こう! 持続可能な社会』 ~ みんなの工夫で実現へ ~**

基調講演: どうなる食品リサイクル ~ 企業では、家庭では ~ (10:30 ~ 11:50)

「改正に向け審議が行われている食品リサイクル法の概要について」

農林水産省総合食料局食品産業企画課食品環境対策室 室長 西野豊秀さん

「小川町の農家と消費者の連携による家庭系生ごみリサイクルについて」

特定非営利活動法人 小川町風土活用センター 代表理事 桑原 衛さん

## 2 < 分科会 (13:15~16:30) の概要 >

### 第1分科会「ごみ処理状況について」

ごみ処理状況を公開している先進的取り組み事例を2つの市からとして発表。加えてエコ・リサが調査した内容を交え、ごみを出す側、処理する側からの、ごみ情報に関するあり方を考えましょう。

講師 坂戸市環境部廃棄物資源課 副主幹 清水満夫さん

講師 北本市市民経済部環境課 参事兼課長 丸谷義信さん

講師 エコ・リサ ごみを知ろう委員会 竹村元宏さん

### 第2分科会「ラクして省エネ快適住まい、ホップ・ステップ・ジャンプ！」

人はなぜ 冷房28度設定に失敗しやすいのか？冬暖かく、夏は涼しい、空調に頼らずに快適に過ごす住まい方を提案。緑のカーテンは入門編、温暖化防止の基本から樹木の配列の工夫までトータルで考える。

講師 グリーンチェーン推進ネットワーク幹事 三牧省吾さん

講師 埼玉県環境部 温暖化対策課 郡司(ぐんじ)高宏主査

講師 さやま環境市民ネットワーク 本橋 亮一さん

### 第3分科会「小川町発」- 地域でつくる循環の輪とネットワーク -

生ごみの発酵槽によるバイオガスと液肥の利用、自然エネルギーなどのNPOふうどの実践と資金調達法などをお話いただき、他の事例も合わせ、県域のネットワークづくりを進める場とします。

講師 NPO法人 小川町風土活用センター代表理事 桑原 衛さん

講師 NPO法人 小川町風土活用センター副代表 高橋 優子さん

講師 埼玉県農林部農産物安全課食品リサイクル担当 斉藤達朗さん

### ごみを知ろう委員会のご案内(第1分科会)

どの自治体も税収が年々減ってきている中でごみはそれほど減ってはいないし、ごみが減ってもごみ処理費用は減らない例もあります。ごみの排出量とごみの処理費用の削減を進めるには、処理量や処理費用の内容についての情報を、行政と市民が共有することが必要と考えます。

当分科会を担当する「ごみを知ろう委員会」では、昨年から今年にかけて、埼玉県内の各自治体に、ごみの処理量や処理費用とその公開の内容についてアンケートを行ないました。

その結果、今の「ごみ処理費用のとらえ方」と「ごみに関する情報の公開の仕方」に問題がありそうなことが判ってきました。

そこで、第1分科会では先進的事例として、市がごみの排出量の速報などを出して住民にごみ減量を呼びかける努力をしている坂戸市の例と、ごみの種類ごとの処理費用を市民と行政が協同でとらえている北本市の例を発表して頂くことにしました。

また、当委員会がおこなった県内市町村のごみについての情報公開の現状についても発表します。以上を元に会場の皆さんと共に、循環型社会を目指して、住民と行政がごみ問題を

考えるとき、どのように関わりあえば良いかなど前向きな話し合いをいたしましょう。

ライフスタイル委員会のご案内（第2分科会）

### 冷蔵庫の電力消費量、カタログ表示と使用実感が異なる原因は・・・？

最近の省エネ型冷蔵庫は、およそ10年前の冷蔵庫に比べ、消費電力量が3分の1から5分の1になっていると言われているが、日本消費者連盟が、数社のメーカーの冷蔵庫に、通常家庭で使用するように各種の食品を入れてどのくらい電力を消費するかを調べた処、メーカーにより異なるが、カタログに記載されている電力使用量の2倍から6倍の電力を消費する、と言う実験結果を発表した。

この違いの原因として、カタログにある消費電力量は、JISに基づいて測定したもので、冷蔵庫の中は空で、また、霜取り装置は働かないような条件で測定している事が判り、通常使用する条件とは全く異なるものである事が判明した。

NPO 法人足温ネットのT氏が「エコワット」を使って調べた所、今までの冷蔵庫の半分以上で、700KW/H以上の節約になる事がわかった、と言うことである。

詳しく知りたい方は、省エネがテーマの第2分科会にぜひご参加ください。

資源循環委員会のご案内（第3分科会）

### 活動テーマは生ごみ！

驚きの先進地域『朝霞・志木』 ‘06.9.29 見学会報告

エコネットあさか（朝霞市リサイクルプラザ）午前、11名参加

“皆が集う「リサイクル」の情報拠点” 朝霞市生ごみ等減量・資源化研究会の副会長の野口久美子さんがパワー全開で案内してくださいました。



1階 リサイクルショップ、ギャラリー、太陽光発電表示パネル、無料で古本を提供するコーナー、外から直接入れるシルバー工房

2階 リサイクル情報コーナー、リサイクル体験コーナー（工具を使ったリサイクルの体験もできる）、リサイクル情報図書コーナー

3階 リフォーム工房（衣類のリフォームができる）、リサイクル工房（この日は数人で茶殻絞り袋を製作中でした）、リサイクル活動室（学習、講座、講演会もO.K.）

屋上 ソーラーパネルが84枚設置され、平成17年度はプラザの電気使用量110,000kwの内の9,500kw（約8%）をまかなったそうです。

建物の横にはほど良い駐車スペース（緑化ブロック）もあり、他にも、雨水利用設備、再生タイル利用、トップライトなど取り入れられています。

畑 プラザの隣の、市が借り上げてくれた畑を、毎週水曜日に20人から25人が集まり耕しています。持ち寄った生ごみ、落葉と彩の国コンポストで堆肥を作り土を改良して数十種類の野菜、花を育てています。

## 大村商事（朝霞、志木） 午後、9名参加

元々は一般廃棄物（家庭系、事業系）、産廃などの業者だったのが学校給食（志木市、和光市）などの生ごみを材料として堆肥を作ることにもするようになったそうです。若き大村専務が2か所の事業所を情熱をこめて案内、説明してくださいました。

### 3ヵ月寝かせて又3ヵ月

チップ化した剪定枝や刈草を3ヶ月置いてから、水分調整のためのおがくず（圧縮してブロック化したもの）と志木市や和光市の学校給食の生ごみ（食べ残し）とを混ぜ、7日に1回ぐらいの割合で攪拌しながら、3ヵ月たてば出来上がりです。木や草と生ごみとの比率は1：1でおがくずは様子を見て入れるそうです。

### 販路その他

農家にも買ってほしいが、条件が厳しく（小さな袋で数十など）大半は市民農園の人々に売っているのが現状。受け入れ量は日に1tから2t。人件費についての質問に対して「他の仕事の隙間（空き時間）でやっている」ので何とかなっているとのこと。

**実験中** 構内によその会社に貸している実験棟があって、そこでは生ごみを水と二酸化炭素にすることを大規模に実現するべく奮闘中でした。すでに特許は取得済みで、生ごみを大量に入手可能な環境をもとめて大村商事に来たとのことでした。

この見学会で市民パワーにうたれ、生ごみ処理の未来に希望を持ちました。

（報告者 原田 史）

## 私たちのスローガン 《 生ごみ3Mを広めよう！！》

### もったいない・燃やさない・もう1度生かそう

朝霞市生ごみ等減量・資源化研究会 野口久美子

「朝霞市生ごみ等減量・資源化研究会」は、平成13年4月に清掃業務課が実験農場を開設、その後準備会を経て行政と市民ボランティアの協働事業として14年9月に始まりました。もうすでにその頃清掃業務課により生ごみ処理機の補助金制度が始まっておりましたが、市民の減量に対する意欲とは別に特にマンション等では、1次処理後の生ごみの熟成場所や利用場所の確保がむずかしいという問題も見えてきたところでした。その解決策の模索と生ごみの本格的な減量に向けての取り組みが必要となりこの研究会が立上げられたのです。

生ごみ等の等ってなーに？と思いませんか？そうなんです。生ごみというのはイメージの通り家庭から出る野菜屑や食べ残し、お茶ガラ、果物の皮などですが、花、茎、草、花壇の整理屑、剪定枝等、落ち葉など生の物全てが対象となります。また、電動ごみ処理機で処理されたものは先ほどの1次処理で乾燥だけされたもので、土に埋めるなどの熟成が必要となります。そのことはCMでは知らされていません。

はじめは何をして良いのか全然わかりませんでした。取りあえず私たちに出来ることとして 実験農場に会員の家庭の生ごみ等を持寄ろう コンポストによる堆肥づくり 荒れた畑の整備（産業廃棄物の残土による盛土の畑だったため、タイヤ、チューブ、鉄筋、コンクリ

ートの塊、石などが山ほど混入していた)の3点から取組み始めました。

初めてのコンポストで集めた生ごみは見事に失敗。仕方なく穴を掘って埋め込みました。その後農家の方に発酵が始まっていた2年物の木のチップを分けていただき、発酵を促す方法も序々に進化。現在はチップ材の代わりに県土の彩の国コンポスト堆肥(無料)を使用、米ぬか(無料)は富士見市のお米屋さん、落葉も2回ほどの会員によるケヤキ並木の落葉掃きの他公民館・図書館・大型マンションに協力いただき、それを1年分として落葉・米ぬかか・県土の土と落葉用の箱でサンドイッチ状で保管。コンポストで収集した生ごみ(1次処理)を寝かせ箱に移し2次発酵処理するときを使用しております。2次処理では、発酵を促す為に約半年から1年の間に3~4回程の切り返しを行なってようやく堆肥ができあがりません。といっても今年の3月使用のものまでは、発酵不足のためか畑土にうね込み後熟成していたものと思われとても堆肥とは言えないものでした。2月に寝かせ箱の覆いを覗いたとき、発酵菌が真っ白に光っていたことは忘れられない感激でした。それまでのあの瓦礫だらけの畑は今や足首まで埋まろうかというほどホカホカの土に生まれ変わり、大根など真綿に包まれているように温かな顔をしています。



これからの課題として大量に生ごみの減量に取り組む時、どのように収集するかが最大のポイントになっていくでしょう。また生ごみの循環の輪として堆肥化の他、国で進めている他の方法も視野に入れていく必要があると思います。生ごみ研究会では生ごみ収集への1つのきっかけとして、エコ・リサの方にご紹介いただいたお茶の水切り袋を「生ごみ袋」に昇格。三角コーナーやシンクに取り付けられたごみ受けの代わりにこの袋を使っていただき、生ごみの80%が水であることの啓発と同時に日常的に使用することによってビニールの小袋等、細かい分別が将来の分別収集に備えられればと考えております。これからも課題はたくさんありますが1つ1つ自身の経験の中から、生ごみ等の減量の大切さをどうしたら市民の方々に伝えられるか、研究を重ねていきたいと思っております。

最後に、応援して下さる関係者の皆様、肉体労働他大変な取り組みを明るく元気に楽しく活動して下さっている会員の皆さんに心より感謝申し上げます。この場をお借りしてお礼申し上げます。今後とも生ごみ研究会をよろしく願いいたします。

### 「県土」について

私たちは今は県の土という意味でこの言葉を使っておりますが、元は「さいたま県土整備事務所」が街路樹や雑草を堆肥化しているもので実際には浦和の羽根倉橋を渡って信号右に入り桜川取水場の脇にある「彩の国コンポスト」という会社が製作運営しています。ここで堆肥をもらうのは県土整備事務所道路環境課に日時と量をFAXで申しこみます。利用目的は営利目的ではないことが条件になっています。県民であればだれでも無料です。朝霞市は農業祭の時に無料配布していますよ。そんな使いかたもされてます。個人であれば袋単位。農家や私たちのような活動グループには大きな単位(100キロ200キロ)でいただけます。詳しくは埼玉県のホームページ 県土整備部 [さいたま県土整備事務所トップページ](#) を見てください。その中にコンポスト申込書があります。申込はそれを使ってFAXします。

# 生ごみの有効利用と循環型農業の試み（連載第1回）

土淵 昭

## 1. はじめに

全国の自治体では、ごみ減量を目的として生ごみ処理容器や、生ごみ処理機に助成金を出して、各家庭で生ごみを処理する事を奨励しているところが多い。

しかし、生ごみ処理のやり方によっては、焼却するより返って環境負荷が大きくなる場合もある。どのような生ごみ処理の方法が環境上優れているか、定性的ではあるが、事例をお話したい。

なお、私は、生ごみ処理機で処理して得られた肥料と落ち葉堆肥を使って60坪ばかり家庭菜園を行っており、農薬を使わず、また、ポリマルチを出来るだけ使用しないようにして野菜づくりをして居るので、ささやかな経験ではあるが報告したい。

## 2. 生ごみ利用の大分類

生ごみの利用方法には、飼料として豚や鶏の飼育に使う方法、醗酵して肥料にする方法、メタン醗酵してメタンガスを発生させて燃料にし、同時に出来る液肥は肥料にする方法、乾燥してペレットにし、燃料にする方法があります。

の方法は、腐敗していない事が大前提で、大工場の社員食堂、ホテル、学校給食センター、飲食店等から出てくる残飯がありますが、割り箸やプラスチック片などの異物に悩まされるようです。

魚屋さんの売れ残り、魚市場の売れ残りなどはもっとも良い原料になります。

ほかに、スーパーやコンビニの消費期限切れ商品や弁当屋の売れ残りなどがありますが、これも包装材やプラスチック片(刺身の横についているビニール片や小さな醤油容器など)が問題になります。

飼料工場では、これらを原料にして、煮沸殺菌・乾燥して、丁度「ふりかけ」のようにして売り出しています。乾燥は真空乾燥しているので、ただ熱を加えて乾燥するよりも遥かに少ないエネルギーで処理出来るようです。この処理方法が上手く軌道に乗ればエネルギーの使用量も少なく、何よりも品物がそのまま再利用でき、しかも家畜が食べたあとの畜糞がまた肥料として利用出来る、と言うメリットがあります。

最近魚、肉、鶏などの処理廃棄物が、ペットの餌に加工されているようです。

の方法は私が述べようとするメインですので別途述べます。

の方法はドイツ、北欧諸国など環境先進国のほか、古くからベトナムや中国の農村で利用されているようです。日本でもいくつかの自治体が試験的に実施していますし、埼玉県では小川町で実施しています。

の方法は、乾燥したりペレット加工したりするのにエネルギーがかかる上に、結局燃やすわけですから、最初から燃やす方がずっと経済的にも環境的にも良い、と私は考えています。

次号から の方法、循環型農業への活用を述べます。



### 賛助会員のご紹介

(株)谷澤商会：富士見市 森田光一さん：東松山市 (株)清水金物：秩父市  
(株)大任工務店：熊谷市 星野又右衛門商店：上尾市 (株)さしま通商：幸手市  
石倉労務管理事務所：上尾市 (株)広栄：川口市(株) アルク設計事務所：上尾市  
高橋茂仁税理士事務所：草加市 (株)高読：幸手市 (有)山栄エクステリア：幸手市  
吉見商事(株)：熊谷市 竹並万吉さん：本庄市 浜野 豊さん：越谷市  
ヒラタホーム(株)：さいたま市 (有)くらづくり本舗：川越市 (株)小島鉄工所：川口市  
(株)瀬山通：深谷市 (株)栄精機製作所：川口市 (株)アイビックス：さいたま市  
ケイ・アール・ベンチャー(株)：蕨市 (株)読売旅行春日部営業所：春日部市  
(株)猪木製作所：草加市 (社)日本青年会議所 関東地区埼玉ブロック協議会  
...順不同...2006.12.1 現在

ご支援・ご協力ありがとうございます。

## エコ・リサ連絡会 入会のご案内

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会は、幅広い環境保全型のリサイクル活動を、市民団体だけでなく、製造・流通・再生資源などの事業者、各種団体・個人が参加し、県や市町村行政とも、ネットワークを創ってすすめています。

お願い：エコ・リサでは、常時会員募集を行っています。よろしくお願いたします。

\* 振込み先・会費納入の際のご注意

郵便振替口座番号 00110-7-764571 加入者名 NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会

埼玉りそな銀行 大宮支店 普通 5392559

名義 特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会

郵便振替で入金される方は、お手数ですが通信欄に新規会員あるいは 会員 年度分と明記の上、お振り込みをお願いいたします。(事務局)

### 事務局のご案内

〒330-0846 さいたま市大宮区大門町 3-205 新井ビル303号室  
(JR大宮駅東口から徒歩8分)

FAX 048-642-6163 <http://www.townnavi.info/eco-risa>

### 編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈りいたします。

アメリカや日本でエタノール車が積極的に推進されそうな気配です。しかし、温暖化の影響が、オーストラリアの大規模な干ばつのためになたねが不作で、相場が高騰しています。世界の平和のために、温暖化をストップさせることは最重要課題のようですが、今年こそ大きく前進したいですね。(編集担当 大前万寿美)

